

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 25 年度第 5 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 25 年 10 月 29 日(火) 14 時 ～ 17 時

二．開催場所：日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭：安原 真人

副会頭：望月 真弓、奥田 真弘

理 事：青山 隆夫、荒木 博陽、井関 健、大澤 孝、大森 栄、川上 純一、
河原 昌美、北田 光一、草井 章、佐々木 均、谷川原 祐介、
寺田 智祐、宮崎 長一郎、山田 清文、山本 康次郎、山本 信夫

監 事：乾 賢一、山田 安彦

陪席者

事務局：中澤 一純、松本 とみ恵、星 隆弘

欠席者

副会頭：鈴木 洋史

年会長：眞野 成康（第 23 回年会）

四．議長：安原 真人

五．会議の成立定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 19 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の要領及びその結果

1. 平成 25 年度第 4 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 8 月 26 日に開催された平成 25 年度第 4 回定例理事会(以下、前回理事会という)議事録案を基に議事内容の確認が行われ、更なる指摘がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。続いて、資料に基づき、前回理事会開催日から昨日までの会務の状況報告があった。

2. 協議事項

(1) 平成 26 年度「がん専門薬剤師集中教育講座」事務運営に関する事務委託契約

議長より、資料に基づき、日本病院薬剤師会（以下、日病薬という）と共催しているがん専門薬剤師集中教育講座の平成 26 年度の事務委託契約については、従前より日病薬に委託している。26 年度の事務についても今年度とほぼ同一内容の覚書をもって契約を取り交わすこと、また、4 月から増額される消費税の取り扱いについては、先行して締結した本学会の 26 年度事務委託契約と同様に扱う旨が説明された。協議した結果、全会一致で承認された。

(2) 平成 25 年度厚生労働科学研究課題

議長より、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金事業として、研究テーマ「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究」が採択され、本学会の会頭（安原真人）が代表研究者となり、分担研究者としてチーム医療の分野を佐々木均 氏、薬局を中心とする地域医療の分野を吉山友二 氏が分担し、日病薬と日本薬剤師会の協力を得て、オールジャパンの体制で研究を進めることが報告され、了承された。次いで、吉山班が作成した報告書「薬局の求められる機能とあるべき姿（暫定版）」の内容が紹介され、本報告書を学会ホームページに掲載し、広く意見を求めることが承認された。

(3) 非常勤職員就業規則等改訂案

事務局長より、資料に基づき、本学会事務局の非常勤職員の就業規則の改訂と同規則を補足する幾つかの内規の整備について、就業規則に定める休日勤務の代休と振替の相違点を整理すると共に、一部の文言・表現の修正を行うこと。また、休日・時間外勤務、出張、休暇取得等に係る内規を整備することが説明された。協議した結果、全会一致で承認された。

(4) 英文雑誌の発行

奥田理事より、資料に基づき、英文論文誌の編集事務受託に係る説明として、BioMed Central 社からのヒアリングした結果として、BioMed Central でのオープンアクセス出版に係る利用条件が報告された。当該投稿及び出版システムの活用を含め、費用、出版形態及び審査・事務局体制等について、今後、更なる検討を進める方針が説明された。

(5) 海外研修事業等への寄付

議長より、本年 9 月 22 日に開催された第 5 回臨時社員総会において承認された次年度予算の一部変更に係る説明があった。協議した結果、海外研修事業とがん専門薬剤師認定事業を統合（合算）すると共に、寄付収入を計上する変更を加えた上で、来年 3 月下旬に開催予定の第 6 回定時社員総会に修正予算として諮ることが承認された。

(6) 平成 24 年度会費未納者への対応

議長より、配付資料に基づき、2 名より提出された会費の遡及納入に係る嘆願について説明があり、協議した結果、全会一致で当該嘆願を了承することとなった。

(7) 利益相反に関する検討

谷川原理事より、資料に基づき、本学会の利益相反マネジメント規程の骨子案として、利益相反の対象者、開示の範囲・方法・項目、自己申告、違反者に対する措置などの取り扱いに係る説明があった。協議した結果、今後、本骨子案に沿った規程や申告書の整備と共に、論文投稿や年会発表における自己申告の方法等を記した Q & A を整備し、1 年間程度の試行期間を設定した上で実施することなどの方針が示された。

3. 報告事項

(1) 専門薬剤師の第三者評価について

望月副会頭より、厚生科学研究の分担研究として薬剤師認定制度認証機構の武立氏が、専門薬剤師の認定の質保証を担保するための第三者認証のあり方に係る調査研究をしており、本学会から自身（望月副会頭）がメンバーとして参加している。現在、複数の関係団体から種々の専門薬剤師が認定されている中、それらの認定の質保証を第三者の視点に立ち社会的に評価される認証のあり方について検討状況が報告され、医療薬学を担う本学会の立場から、積極的に意見を述べたという発言があった。

(2) 平成 26 年度事務委託契約

議長より、資料に基づき、前回理事会で承認された平成 26 年度の事務委託契約を本年 10 月 1 日付けで締結したことが報告された。

(3) 第 1 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会実施報告

谷川原理事より、資料に基づき、第 1 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会（9 月 1 日開催）の実施状況報告があった。

(4) 第 23 回年会実施報告

議長より、配付資料に基づき、本年 9 月 21 日、22 日の両日、仙台市において開催された第 23 回年会の実施報告として、一般参加者数 5,962 名、講演 16 題、シンポジウム 42 題、一般演題（ポスターを含む）1,420 題等の情報に続き事業成果報告があり、盛況に執り行われたことが報告された。

(5) 第 24 回年会準備状況報告

奥田理事より、第 24 回年会の開催準備状況として、去る 9 月 24 日に同年会のホームページを開設し、11 月中旬頃を目途にシンポジウム演題の公募を行う計画が報告された。

(6) 平成 26・27 年度役員候補者選挙立候補状況報告

中島役員候補者選挙管理委員会委員長より、配布資料に基づき、去る 9 月 18 日から 2 週間にわたり立候補を受け付けた平成 26・27 年度役員候補者選挙への立候補者名簿の報告と当該選挙に係る投票、当選者の公表等を含めた今後のスケジュールが説明された。

(7) 薬物療法専門薬剤師の申請に係るアンケート調査結果報告

山田理事より、今年度新たに認定薬剤師に認定された 60 名に対する薬物療法専門薬剤師の申請に係るアンケート調査の結果報告（速報）があり、回答者の約半数が将来的に同専門薬剤師の申請を目指していることなどが説明された。

(8) 平成 25 年度がん専門薬剤師認定試験の受験資格審査結果報告

谷川原理事より、第 3 回がん専門薬剤師認定制度委員会（平成 25 年 8 月 23 日開催）において、今年度のがん専門薬剤師認定試験の受験資格審査に係る結果報告として、申請者の 7 割以上に当たる 102 名が 11 月 23 日に実施する同試験の受験資格を有すると判定した

ことが報告された。

(9) 2014年度がん専門薬剤師海外研修事業派遣研修員の募集

谷川原理事より、2014年度がん専門薬剤師海外研修事業の派遣研修員の募集を、本学会HPを通じて9月30日より開始したこと及び学会誌上でも同様の募集案内をすることが報告された。

(10) 平成26年度学会賞の募集について

大森理事より、平成26年度の学術貢献賞、奨励賞、Postdoctoral Awardと、井関理事より、論文賞の各賞に係る候補者・論文の募集を10月1日より開始したこと及び学会誌上でも同様の募集案内をすることが報告された。

(11) 第51、52回公開シンポジウム開催プログラム

川上理事より、11月17日に開催する第51回（宇都宮市）、第52回（富山市）の両公開シンポジウムの開催概要が報告された。

(12) 平成25年度がん集中教育講座（東京・9月）収支報告

佐々木理事より、9月7日、8日の両日に開催されたがん専門薬剤師集中教育講座（東京）の収支報告について、事務委託先の日病薬より提出された書類を基に説明があった。また、谷川原理事より、がん専門薬剤師研修の一環としてeラーニングシステムを活用した研修活動の展望が示され、経費等も含めた調査検討を行いたいという考えが述べられた。

(13) 第1回薬物療法専門薬剤師集中講義・プログラム及び申込状況

河原理事より、11月30日、12月1日の両日に長井記念館地下ホールで開催する第1回薬物療法専門薬剤師集中講義の開催概要と受講申込の状況が報告された。

(14) 委員会報告

・平成25年度第3回専門薬剤師育成委員会

山田理事より、第3回専門薬剤師育成委員会（9月9日開催）の協議事項として、薬物療法専門薬剤師とその先にあるサブスペシャリティ資格の連携を踏まえた研修期間の考え方と、他学会の認定制度（認定資格）との連携に関する協議をしたことが報告された。

(15) 後援依頼

議長より、次の2件の後援依頼について、了承回答した旨の報告があった。

・第15回オンコロジーセミナー（主催：NPO法人がん医療研修機構）

・第33回医療情報学連合大会・第14回日本医療情報学会学術大会（主催：第33回医療情報学連合大会長）

(16) その他

1) 山本理事より、編集委員会より次回の理事会に、医療薬学誌の投稿要件となっている会員資格を削除することや引用文献として、添付文書、インタビューフォーム、社内資料を

- 当該欄には記載させないなどの改訂方針の説明があった。本件については、了承された。
- 2) 山田理事より、薬剤師の研修に関する懇談会ワーキングの協議において、中核を担う薬剤師を認定するためには試験を課すべきという結果に至り、本学会の認定試験を共用試験として活用する話題も出たこと、そのため、次回の懇談会には、試験問題のサンプルとして本学会 HP で公表している過去問を提供することについて相談があり了承された。
 - 3) 谷川原理事より、本年 9 月の日本薬剤師会学術大会において、本学会が共催した抗がん薬の薬薬連携をテーマとするシンポジウムが成功裏に開催されたとの報告があった。
 - 4) 谷川原理事より、前回の理事会でも協議した日本癌治療学会のがん診療ガイドライン委員会医薬品プロフィール分科会の委員の推薦依頼が、近日中に本学会に届くことが決定されたという報告があった。そのため、次回の理事会に同委員候補者のリストを諮り、年明けに先方に連絡したいという説明があった。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 17 時に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭 印

監事 印

監事 印